

第 I 部 総 論

1 水道の普及状況

本県の水道普及率は、令和3年3月末現在で95.0%（総人口5,128千人に対して給水人口4,870千人）となっており、未給水人口は258千人となっています。

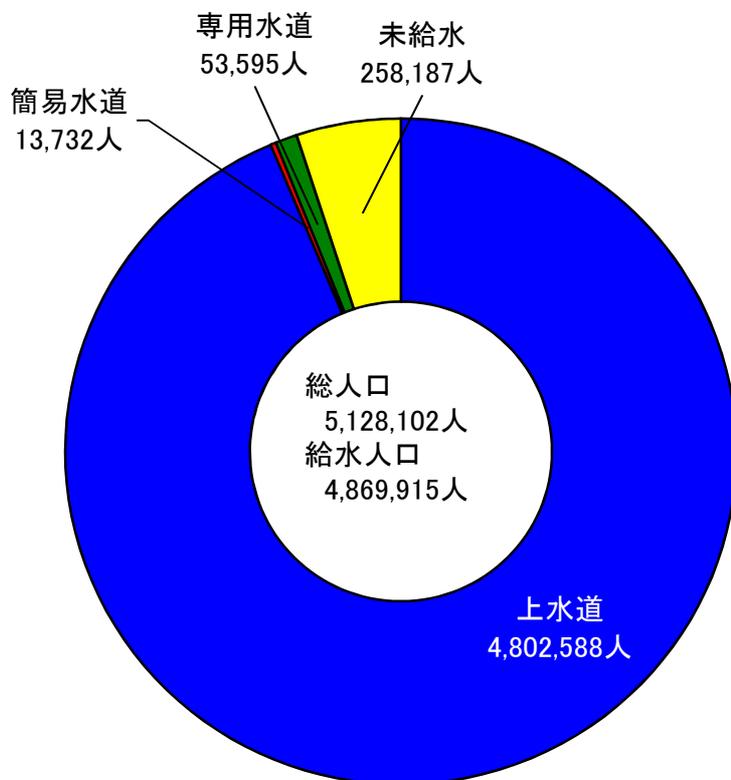
広域圏別の水道普及率は、福岡地区が96.8%と最も高く、次いで筑豊地区が96.6%、北九州地区が96.4%、筑後地区が86.8%となっています。

また、給水人口の内訳は、上水道が4803千人（98.6%）と大部分を占めており、次いで専用水道が54千人（1.1%）、簡易水道が14千人（0.3%）となっています。

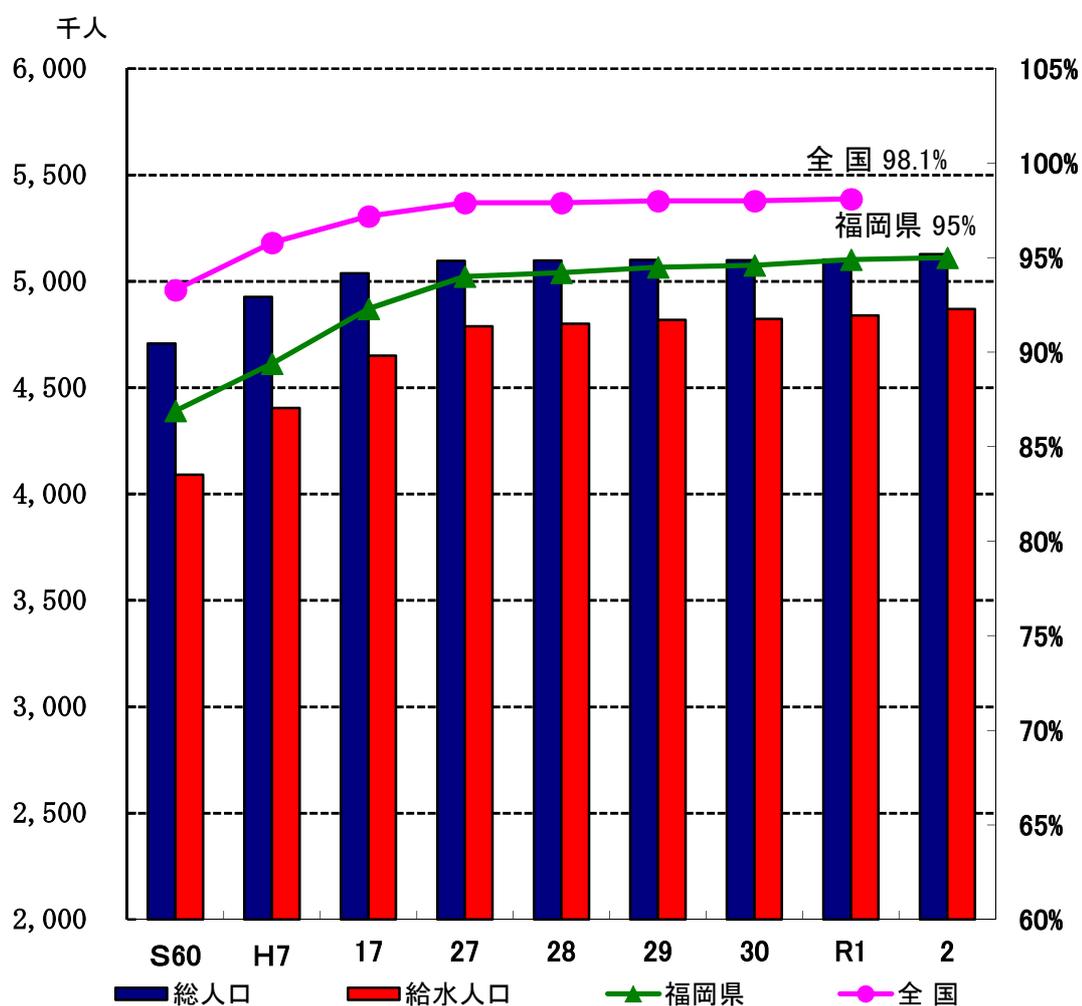
◎ 現在給水人口と普及率（令和3年3月末現在）

広域圏	総人口 (人)	現在給水人口(人)			未給水人口 (人)	普及率
		上水道	簡易水道	専用水道		
福岡	2,612,744	2,528,012	2,501,815	1,336	24,861	96.8%
北九州	1,247,692	1,202,962	1,195,418	3,819	3,725	96.4%
筑後	872,690	757,243	734,185	2,684	20,374	86.8%
筑豊	394,976	381,698	371,170	5,893	4,635	96.6%
県計	5,128,102	4,869,915	4,802,588	13,732	53,595	95.0%

※ 専用水道は、自己水源によるもののみを計上



◎ 水道普及状況の推移



	S60	H7	17	27	28	29	30	R1	2	
本県の総人口 (千人)	4,708	4,926	5,037	5,096	5,098	5,100	5,099	5,102	5,128	
本県の給水人口 (千人)	4,090	4,404	4,650	4,789	4,801	4,818	4,823	4,840	4,870	
普及率	福岡県	86.9%	89.4%	92.3%	94%	94.2%	94.5%	94.6%	94.9%	95%
	全国	93.3%	95.8%	97.2%	97.9%	97.9%	98%	98.0%	98.1%	未公表

※ 本資料作成時点で、全国の令和2年度値は未公表

2 給水の状況

(1) 年間給水量

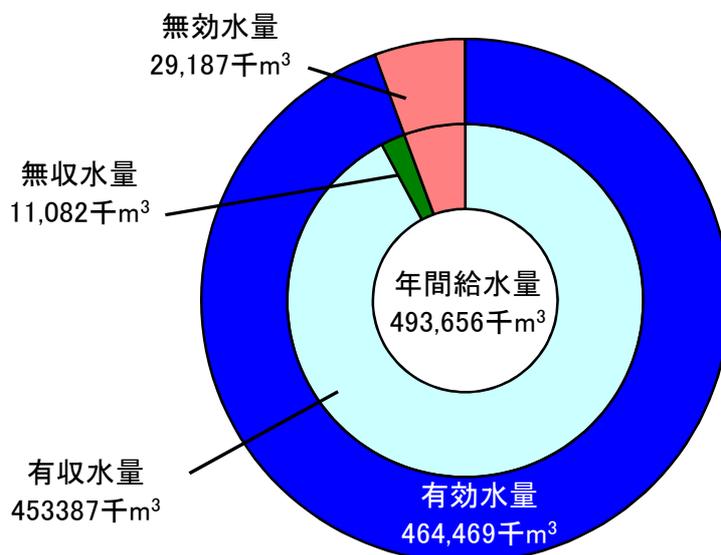
令和2年度の年間給水量は 493,656 千 m³ となっており、その大部分を上水道による給水が占めています(99.7%)。なお、年間給水量は前年度から 7,969 千 m³ 増加しています。

また、漏水などによる無効水量を除いた、年間給水量に対する有効水量の割合(有効率)は 94.1%となっています。

◎ 広域圏別給水量(上水道、簡易水道)

区分	広域圏	年間給水量 A (B+E)	有効水量 B	有効水量の内訳		無効水量 E	有効率 B/A	有収率 C/A
				有収水量 C	無収水量 D			
上水道	福岡	236,038	228,949	225,521	3,428	7,089	97.0%	95.5%
	北九州	133,566	123,509	120,405	3,104	10,057	92.5%	90.1%
	筑後	74,786	70,261	67,641	2,620	4,525	93.9%	90.4%
	筑豊	47,616	40,563	38,650	1,913	7,053	85.2%	81.2%
	計	492,006	463,282	452,217	11,065	28,724	94.2%	91.9%
簡易水道	福岡	128	124	123	1	4	96.9%	96.1%
	北九州	256	243	238	5	13	94.9%	93.0%
	筑後	364	283	275	8	81	77.7%	75.5%
	筑豊	902	537	534	3	365	59.5%	59.2%
	計	1,650	1,187	1,170	17	463	71.9%	70.9%
合計		493,656	464,469	453,387	11,082	29,187	94.1%	91.8%

※ 簡易水道の数値については、小数点以下を四捨五入しているため、合計値と一致しない。



- 年間給水量：水道事業者が自己の給水区域に対して給水した実績水量（有効水量＋無効水量）
- 有効水量：水道の使用上有効とされた水量（有収水量＋無収水量）
- 有収水量：料金徴収の基礎となった水量
- 無収水量：料金徴収の対象とならなかった水量（管洗浄用、公衆便所用等）
- 無効水量：水道の使用上無効とされた水量（配水管からの漏水等）

(2) 用途別有収水量

上水道事業における有収水量の用途別内訳は、生活用が 378,584 千 m³、業務・営業用が 65,871 千 m³、工場用が 8,364 千 m³、その他が 2,385 千 m³となっており、生活用、業務・営業用がその大部分を占めています。

◎ 広域圏別用途別有収水量(上水道)

(単位:千m³)

広域圏	生活用	業務・営業用	工場用	その他	計
福岡	190,428	34,011	567	514	225,520
北九州	97,834	17,683	3,872	1,016	120,405
筑後	59,116	8,937	1,762	814	70,629
筑豊	31,206	5,240	2,163	41	38,650
計	378,584	65,871	8,364	2,385	455,204
構成比率	83.2%	14.5%	1.8%	0.5%	100.0%

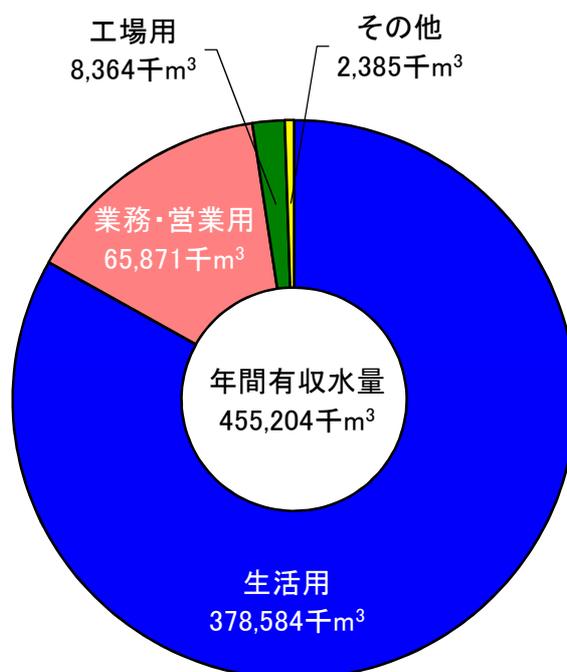
※ 用途区分は次のとおり

生活用：一般家庭用

業務・営業用：官公署、学校、病院、事務所、公衆浴場用、船舶用、共用栓等

工場用：工場用

その他：水道事業所用水、水道メーター不感水量等



(3) 平均給水量、最大給水量

令和2年度における一日平均給水量は 1,352 千 m³、一日最大給水量は 1,598 千 m³と なっています。

一人一日当たりでは平均給水量が 281 リットル、最大給水量が 332 リットルとなっ ており、広域圏別にみると、筑豊地区が最も多く、次いで北九州地区、筑後地区、福岡地区の 順となっています。

◎ 広域圏別平均給水量、最大給水量

広域圏	区 分	平均給水量		最大給水量	
		日平均 (m ³)	一人一日 (ℓ)	日最大 (m ³)	一人一日 (ℓ)
福 岡	上水道	646,679	258	716,764	286
	簡易水道	350	262	611	457
	計	647,030	258	717,375	287
北九州	上水道	365,934	306	461,634	386
	簡易水道	701	183	960	251
	計	366,635	306	462,594	386
筑 後	上水道	204,893	279	240,867	328
	簡易水道	997	372	1,335	497
	計	205,890	279	242,202	329
筑 豊	上水道	130,455	351	172,432	465
	簡易水道	2,471	419	2,987	507
	計	132,926	353	175,419	465
県 計	上水道	1,347,962	281	1,591,697	331
	簡易水道	4,520	329	5,893	429
	計	1,352,482	281	1,597,590	332
全 国	上水道	-	328	-	366

※全国は、令和2年度値が未公表のため、前年度(令和元年度)値を掲載

○ 平均給水量

- ・ 日 平 均 : 年間給水量 ÷ 365日(1年)
- ・ 一人一日 : 日平均給水量 ÷ 給水人口

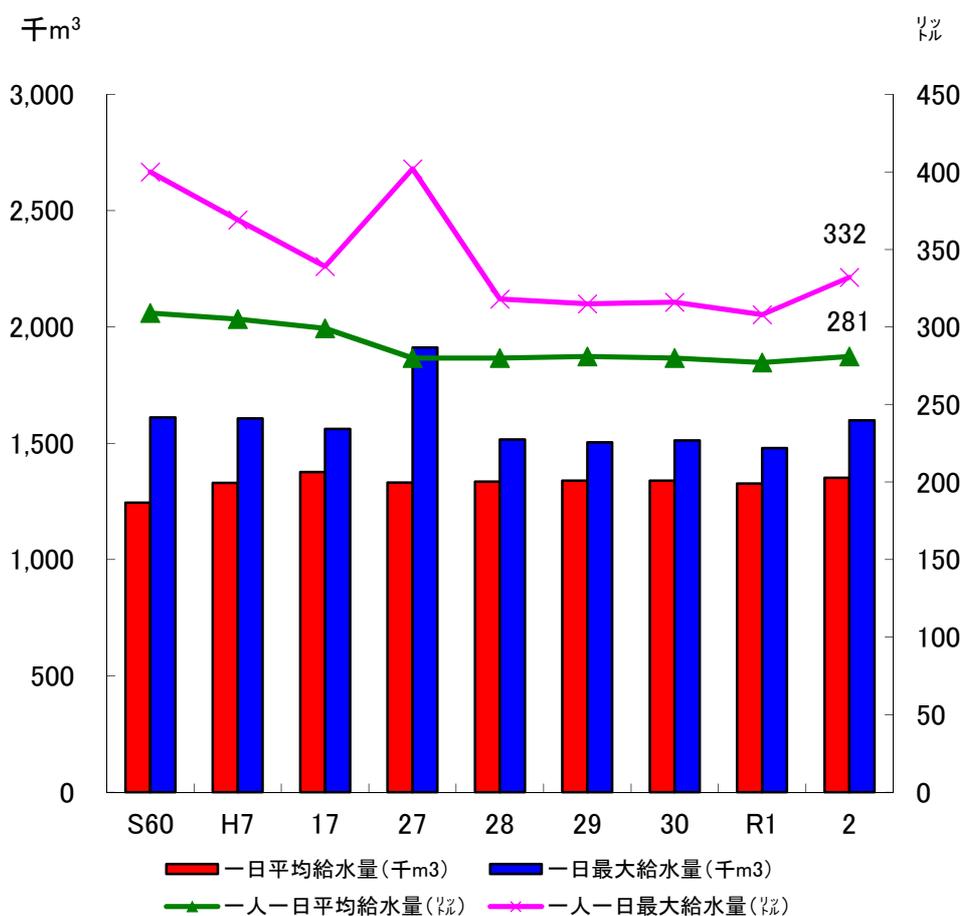
○ 最大給水量

- ・ 日 最 大 : 水道事業者ごとの日最大給水量の合計
- ・ 一人一日 : 日最大給水量 ÷ 給水人口

※ 全国は令和元年度末の値(本資料作成時点で令和2年度値は未公表)

一日最大給水量、一人一日最大給水量は、平成28年1月の記録的寒波に伴う給水管の凍結・破損等による漏水の影響で一時的に増加した平成27年度を除き、ほぼ横ばいで推移しています。一日平均給水量・一人一日平均給水量については、近年、ほぼ横ばいで推移しています。

◎ 一日平均・最大給水量、一人一日平均・最大給水量の推移(上水道、簡易水道)



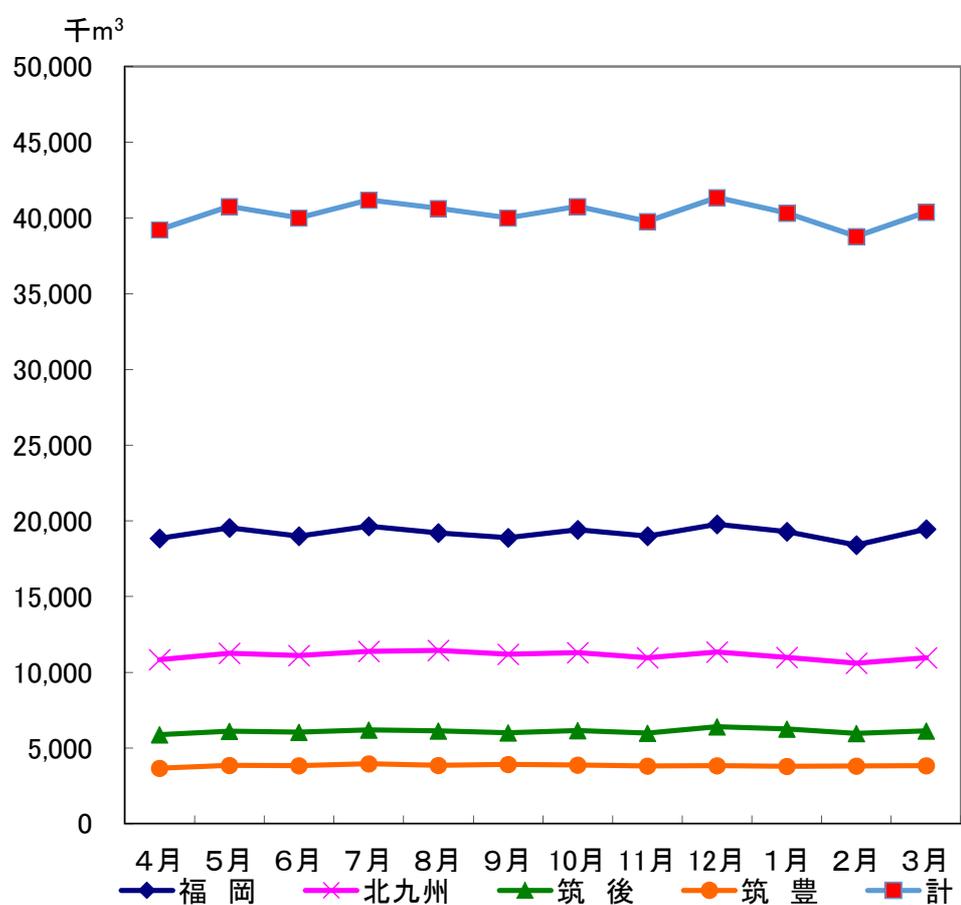
区分 \ 年度	S60	H7	17	27	28	29	30	R1	2
一日平均給水量(千m³)	1,245	1,329	1,376	1,331	1,335	1,339	1,339	1,327	1,352
一日最大給水量(千m³)	1,611	1,607	1,562	1,912	1,516	1,504	1,512	1,479	1,598
一人一日平均給水量(ℓ)	309	305	299	280	280	281	280	277	281
一人一日最大給水量(ℓ)	400	369	339	402	318	315	316	308	332

(4) 月別給水量

令和2年度の上水道事業における月別給水量の最大値は12月の42,583千 m^3 であり、最小値は2月の38,893千 m^3 となっています。

広域圏別にみると、福岡地区の最大値は12月の20,560千 m^3 、最小値は2月の18,387千 m^3 、北九州地区の最大値は8月の11,655千 m^3 、最小値は2月の10,510千 m^3 、筑後地区の最大値は12月の6,593千 m^3 、最小値は4月の5,990千 m^3 、筑豊地区の最大値は10月の4,083千 m^3 、最小値は4月の3,826千 m^3 となっています。

◎ 月別給水量(上水道)



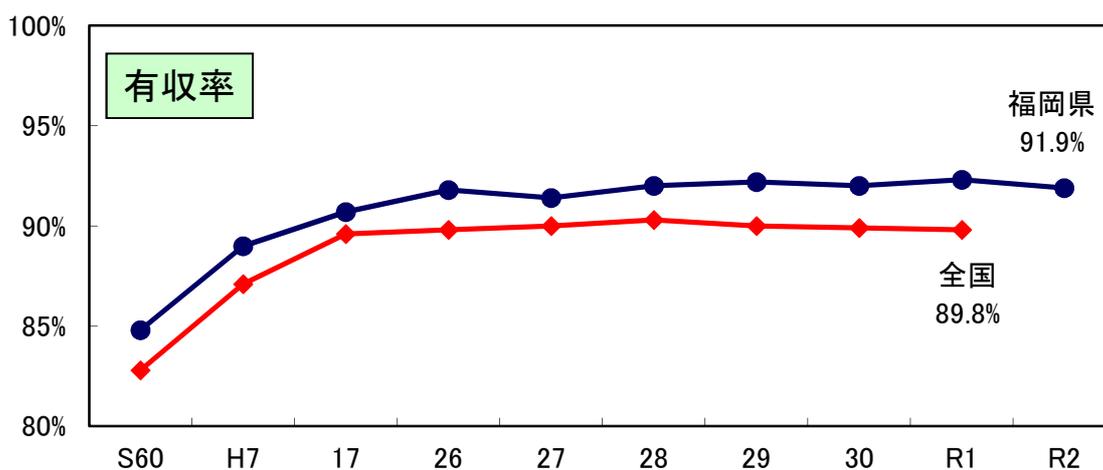
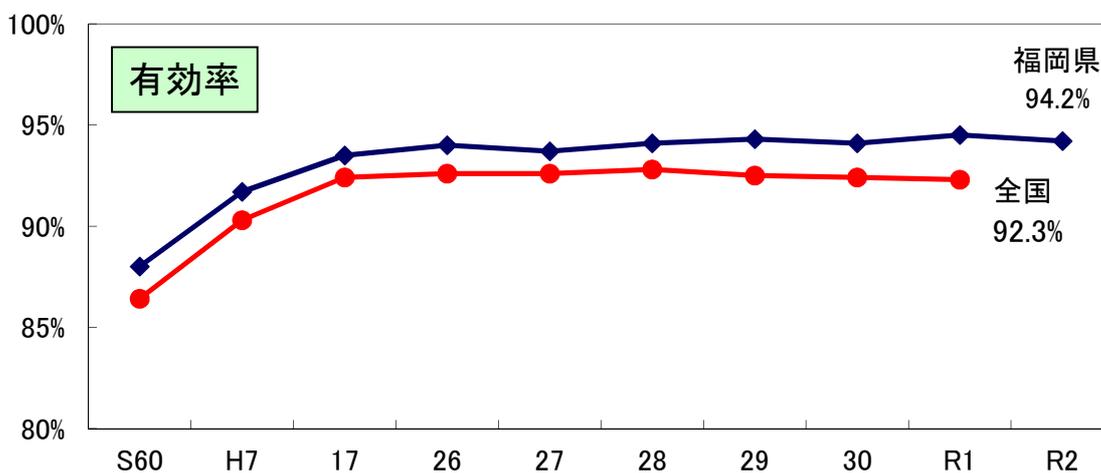
(単位: 千 m^3)

広域圏	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福岡	18,947	19,491	19,330	19,777	20,267	19,364	20,037	19,547	20,560	20,321	18,387	20,010	236,038
北九州	10,690	11,013	10,904	11,155	11,655	11,074	11,377	11,005	11,451	11,588	10,510	11,144	133,566
筑後	5,990	6,146	6,077	6,213	6,436	6,058	6,284	6,134	6,593	6,582	6,014	6,259	74,786
筑豊	3,826	3,952	3,903	3,960	3,971	4,013	4,083	3,904	3,979	4,030	3,982	4,013	47,616
計	39,453	40,602	40,214	41,105	42,329	40,509	41,781	40,590	42,583	42,521	38,893	41,426	492,006

(5) 有効率、有収率

上水道事業における令和2年度の有効率は94.2%、有収率は91.9%となっており、どちらも全国平均を上回って推移しています。

◎ 有効率、有収率の推移(上水道)



		S60	H7	17	26	27	28	29	30	R1	R2
有効率	福岡県	88.0%	91.7%	93.5%	94.0%	93.7%	94.1%	94.3%	94.1%	94.5%	94.2%
	全国	86.4%	90.3%	92.4%	92.6%	92.6%	92.8%	92.5%	92.4%	92.30%	未公表
有収率	福岡県	84.8%	89.0%	90.7%	91.8%	91.4%	92.0%	92.2%	92.0%	92.3%	91.9%
	全国	82.8%	87.1%	89.6%	89.8%	90.0%	90.3%	90.0%	89.9%	89.80%	未公表

○ 有効率：年間給水量に対する有効水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度有効に使用されているかを示す指標

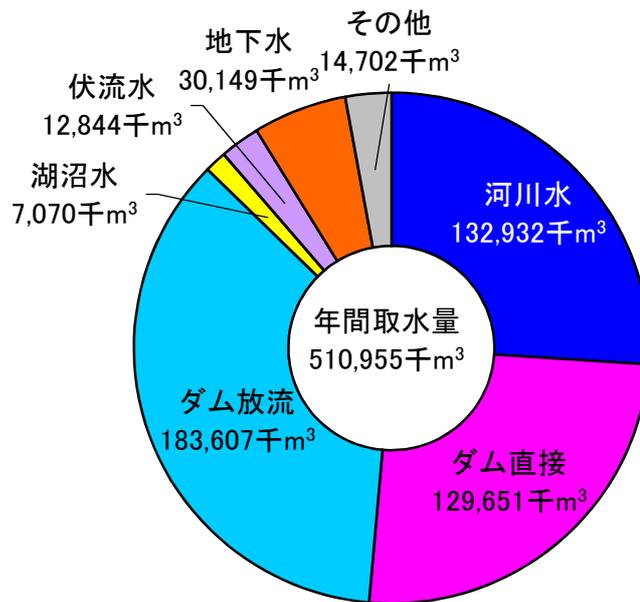
○ 有収率：年間給水量に対する有収水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度収益につながっているかを示す指標

※ 本資料作成時点で、全国の令和2年度の値は未公表

3 取水の状況

令和2年度における上水道事業及び水道用水供給事業の年間取水量は合わせて510,955千m³で、その大部分を表流水(河川水、ダム直接、ダム放流及び湖沼水)からの取水が占めています(88.7%)。

◎ 年間取水量の内訳(上水道、水道用水供給)



◎ 年間取水量の推移(上水道、水道用水供給)

(単位:千m³)

年度	S60	H7	17	27	28	29	30	R1	2
河川水	116,791	163,039	129,617	111,554	122,196	137,947	129,956	139,266	132,932
ダム直接	131,761	113,409	109,365	137,185	132,087	108,950	116,547	118,384	129,651
ダム放流	134,891	120,667	165,716	172,500	168,761	177,066	185,484	175,178	183,607
湖沼水	5,537	7,981	9,327	6,599	6,426	6,798	7,377	6,985	7,070
伏流水	22,736	24,389	31,518	15,968	17,266	19,356	18,743	19,117	12,844
地下水	47,998	56,701	49,135	35,865	32,782	33,887	32,091	30,492	30,149
その他	1,003	1,429	24,138	15,476	14,888	15,551	13,295	14,800	14,702
(海水淡水化)	-	-	(23,497)	(14,809)	(14,281)	(14,984)	(12,728)	(14,185)	(14,074)
計	460,717	487,615	518,816	495,147	494,406	499,555	503,493	504,222	510,955

※ その他欄の()は、海水淡水化施設で内数。(平成17年度以降)

4 財務の状況

(1) 総収益と総費用

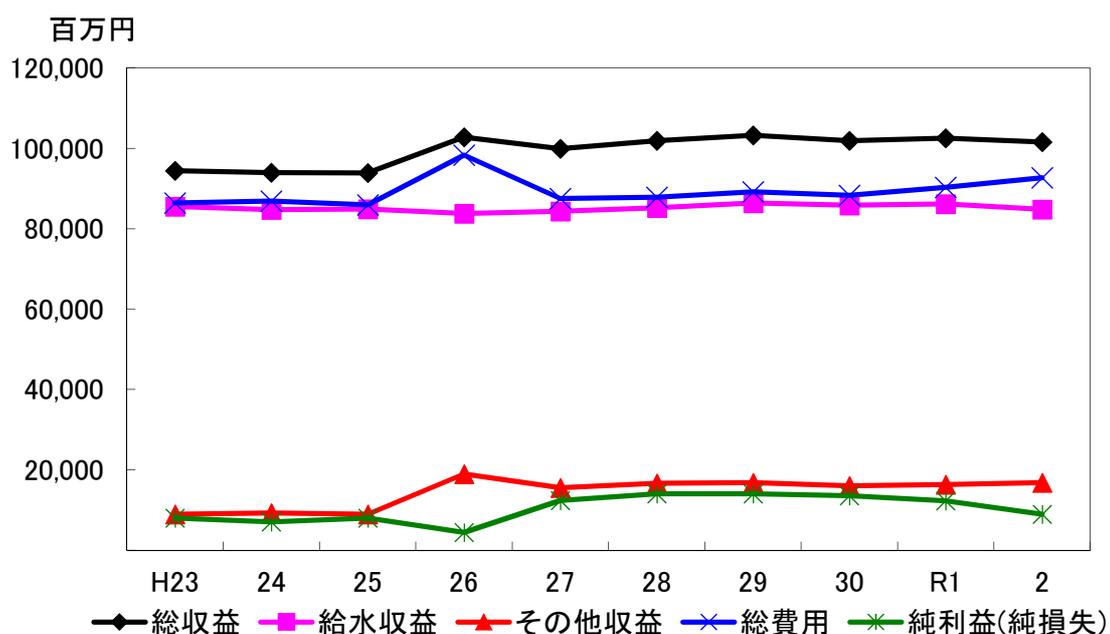
令和2年度における上水道事業の総収益は 1,016 億円となっており、前年度から 9 億円減少しています。また、総費用は 927 億円となっており、前年度から 24 億円増加しています。

なお、総収益から総費用を差し引いた純利益は 89 億円となっており、前年度から 33 億円減少しています。

◎ 総収益と総費用の推移(上水道)

(単位:百万円)

年 度	総収益 (A)		総費用 (B)	純利益(純損失) (A)-(B)
	給水収益	その他収益		
H23	94,416	8,924	86,423	7,993
24	93,967	9,269	86,908	7,060
25	93,840	8,966	85,887	7,953
26	102,737	18,985	98,337	4,400
27	99,874	15,534	87,490	12,384
28	101,890	16,681	87,866	14,024
29	103,221	16,842	89,173	14,048
30	101,855	15,996	88,330	13,524
R1	102,511	16,359	90,259	12,252
2	101,575	16,785	92,656	8,920



(2) 費用構成

令和2年度の上水道事業における費用構成をみると、減価償却費と受水費が約半分を占めています。

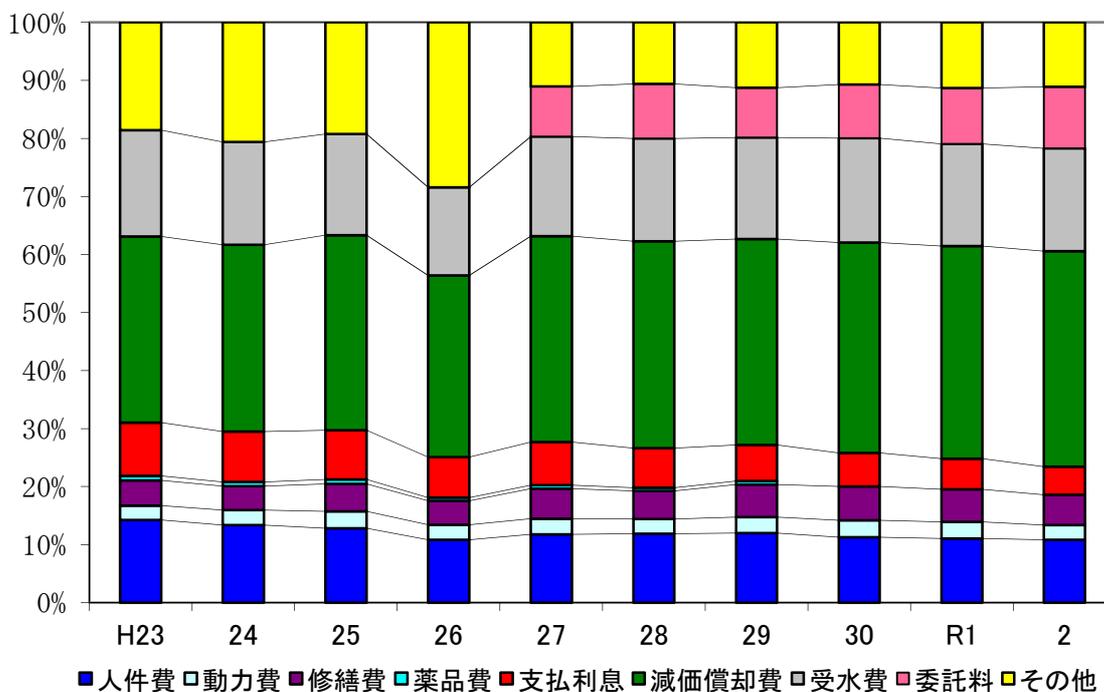
また、減価償却費は増加傾向にあります。

◎ 費用構成の推移(上水道)

(単位:百万円)

年 度	H23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2
人件費	12,163 (14.2%)	11,587 (13.3%)	10,919 (12.8%)	10,572 (10.8%)	10,162 (11.7%)	10,349 (11.9%)	10,581 (12.0%)	9,817 (11.2%)	9,853 (11.0%)	9,900 (10.7%)
動力費	2,152 (2.5%)	2,248 (2.6%)	2,457 (2.9%)	2,516 (2.6%)	2,373 (2.7%)	2,226 (2.6%)	2,451 (2.8%)	2,493 (2.8%)	2,524 (2.8%)	2,304 (2.5%)
修繕費	3,729 (4.4%)	3,594 (4.1%)	4,047 (4.8%)	4,029 (4.1%)	4,460 (5.2%)	4,223 (4.8%)	4,968 (5.6%)	5,088 (5.8%)	5,015 (5.6%)	4,829 (5.2%)
薬品費	653 (0.8%)	628 (0.7%)	640 (0.8%)	565 (0.6%)	507 (0.6%)	477 (0.5%)	542 (0.6%)	589 (0.7%)	721 (0.8%)	642 (0.7%)
支払利息	7,855 (9.2%)	7,551 (8.7%)	7,219 (8.5%)	6,832 (7.0%)	6,423 (7.4%)	5,950 (6.8%)	5,481 (6.2%)	5,040 (5.8%)	4,677 (5.2%)	4,398 (4.8%)
減価償却費	27,436 (32.1%)	27,974 (32.2%)	28,589 (33.6%)	30,585 (31.3%)	30,728 (35.5%)	31,075 (35.6%)	31,360 (35.5%)	31,503 (36.0%)	32,598 (36.3%)	34,009 (36.9%)
受水費	15,679 (18.3%)	15,404 (17.7%)	14,841 (17.4%)	14,846 (15.2%)	14,880 (17.2%)	15,457 (17.7%)	15,477 (17.5%)	15,640 (17.9%)	15,686 (17.5%)	16,235 (17.6%)
委託料					7,462 (8.6%)	8,196 (9.4%)	7,577 (8.6%)	8,049 (9.2%)	8,546 (9.5%)	9,718 (10.5%)
その他	15,910 (18.6%)	17,911 (20.6%)	16,389 (19.3%)	27,773 (28.4%)	9,557 (11.0%)	9,245 (10.6%)	9,974 (11.3%)	9,289 (10.6%)	10,078 (11.2%)	10,135 (11.0%)
計	85,577 (100.0%)	86,896 (100.0%)	85,101 (100.0%)	97,718 (100.0%)	86,552 (100.0%)	87,199 (100.0%)	88,410 (100.0%)	87,508 (100.0%)	89,698 (100.0%)	92,170 (100.0%)

※平成27年度から「委託料」が、統計項目として追加された。(平成26年度までは「その他」に含まれていたもの。)



5 水道料金（上水道）

水道料金は水道事業者ごとに設定されています。

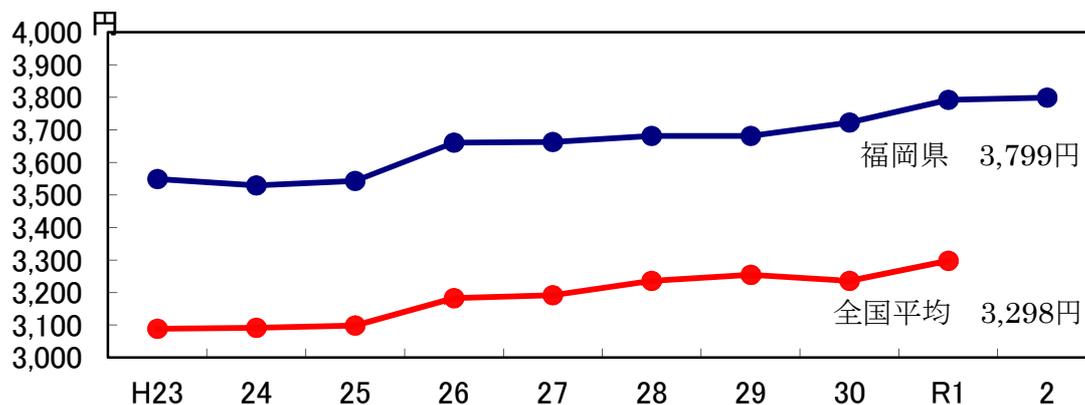
令和3年3月末現在における家庭用1ヶ月20 m³の水を使用した際の料金に対する事業数の分布は下記の表のとおりです。また、県平均の水道料金は3,799円となっています。

◎ 家庭用1ヶ月20 m³当たりの水道料金（上水道）

（令和3年3月31日現在）

区 分	事業体数
2,000円以上～2,500円未満	3
2,500円以上～3,000円未満	5
3,000円以上～3,500円未満	5
3,500円以上～4,000円未満	18
4,000円以上～4,500円未満	13
4,500円以上	6

◎ 県平均水道料金の推移（上水道：家庭用1ヶ月20 m³当たり）



（単位：円）

年度	H23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2
福岡県	3,549	3,529	3,543	3,661	3,663	3,681	3,681	3,722	3,792	3,799
全国平均	3,089	3,092	3,098	3,183	3,192	3,236	3,254	3,236	3,298	未公表

※ 基礎料金・メーター使用料を含む

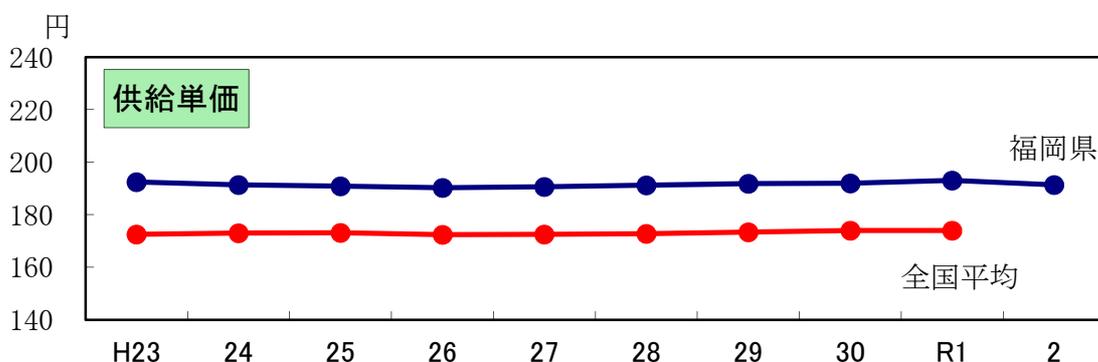
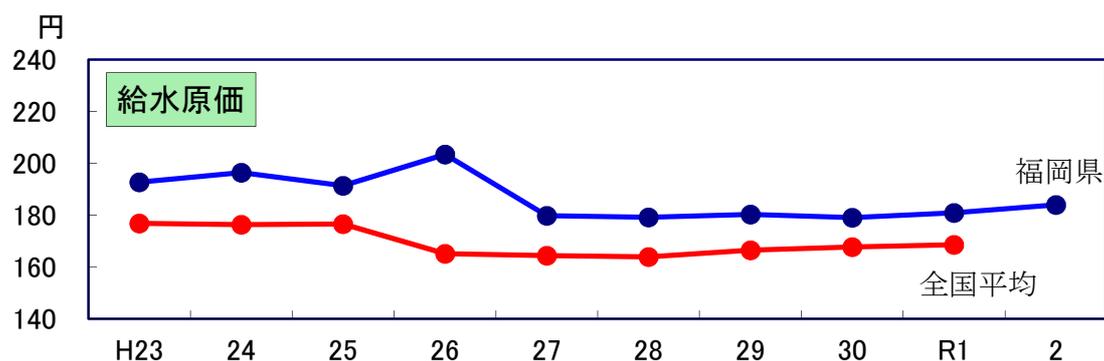
※ 本資料作成時点で、全国の令和2年度値は未公表

6 給水原価と供給単価（上水道）

令和2年度における上水道事業の給水原価及び供給単価はそれぞれ 183.91 円/m³ 及び 191.41 円/m³ となっています。

また、いずれも全国平均を上回って推移し、近年は横ばい傾向を示しています。

◎ 給水原価と供給単価の推移（上水道）



(単位: 円/m³)

年度		H23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2
給水原価	福岡県	192.62	196.36	191.35	203.39	179.74	179.17	180.20	179.06	180.90	183.91
	全国平均	176.78	176.26	176.51	165.13	164.40	163.85	166.41	167.70	168.58	未公表
供給単価	福岡県	192.43	191.39	190.84	190.32	190.64	191.25	191.83	191.94	193.08	191.41
	全国平均	172.47	172.95	173.12	172.34	172.47	172.80	173.33	173.99	174.01	未公表

○ 給水原価：有収水量1m³当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを表すもの。

○ 供給単価：有収水量1m³当たりについて、どれだけ収益を得ているかを表すもの。

※ 本資料作成時点で、全国平均の令和2年度の値は未公表